

照らし、妥当かどうかの判断材料に使われることは、過度な内容の公共事業を抑制する意味では、必要ではないかと思う。

小島 正春 議員

質問 町民体育大会（運動会）の実施について

U・イターナー者と地元住民との親睦をはかり、若者同士の交流促進を促し、また地元に着愛着を持ち、地区ごとの連携を密にするうえにおいても、町主導での町民参加型の運動会を実施することが望ましいと思う。この運動会を実施することにより、少しでも町の活性化につながると思うが、町長の考えを伺う。

回答 町長

運動会については、西ノ島小学校に統合されるまで、各小学校の校区単位で地区が中心になって開催されていた。最近では、参加者は子どもや家族や役員などがほとんどで、関係者以外の方の参加が少なく、地域の交流の場としての役割は薄れてきていると感じている。

こうした状況の中、交流促進や地区の連携強化などを目的とした町民

参加型・地区対抗型の運動会の開催には、各地区の区長さんをはじめ、それぞれの地区の方の協力や町民の皆さんの機運の盛り上がりが大変重要である。そうした協力が無いと、あり得ないと思う。

この間の産業文化祭での川中美幸コンサートでは、多くの皆さんから「良かった」との声をいただき、地域の皆様に元気を与えたと思っ

ている。このように運動会に限らず何で盛り上げるといことですが、記念行事などの節目節目にやるのか、町民の皆様の気運の盛り上がりなど、その時々状況を見ながらイベント等判断していきたいと考えている。

尾崎 満 議員

質問1 子ども・子育て支援法施行に伴う本町の対応について

昨年、通常国会において「子ども・子育て支援法」が施行された。この制度が本格的に動き出すのは平成27年度であり、市町村は重要な役割を担うことになっている。

次代の西ノ島町を担う子どもたちの健やかな成長を支える「市町村子

ども・子育て支援事業計画」の策定、市町村等における「合議制の機関設置」など、本町の取り組み状況はどうか町長の見解を伺う。

回答 町長

本制度の趣旨としては、市町村が主体となって幼児教育、保育、地域の子育て支援の質、量の充実を図ることとなっている。

新たな支援法を実施するにあたり、市町村は5年を一期とする「子ども・子育て支援事業計画」を平成26年度中に策定する必要がある。

この事業計画の策定に当たっては、現場の声を十分に反映させるために、保育所関係者や保護者・学識経験者などを構成員とする「子ども・子育て支援会議」を設置する予定としている。

まずは、アンケート調査により、教育・保育・子育て支援に関するニーズを把握することとしており、この調査結果などを踏まえ、「子ども・子育て支援会議」などで協議を重ね、平成26年度中に計画策定を行い、将来にわたって、町内で安心した子育てができる環境整備に努めていく。

質問2 旧美田診療所の管理と今後の跡地利用計画について

平成20年に当時の美田5地区協和会と西ノ島町との間で、土地売買契約が締結され町有財産となったが、建物も年々老朽化し、危険家屋になりつつある。

今後の管理方策と跡地利用をどのように考えているのか、町長の見解を伺う。

回答 町長

旧美田診療所の土地については、平成20年に美田地区協和会（美田5地区）との間で売買契約が成立し、現在は西ノ島町の所有となっている。管理については、売買契約の時に建物の管理は地元の大津区が行うこととなっており、町は周囲の草刈りを年2回の頻度で行っている。

現段階では、跡地利用の具体案は定まっていないが、財源や建物の老朽化等も考慮しながら、出来るだけ早い時期に計画を立てたいと思う。従って、跡地利用が決まるまでは、現在の管理を続けていきたい。

西ノ島町議会

広報調査特別委員会

地域地球学発表会

1月10日、3年生の地域創造コース生徒による、地域地球学成果発表会を行いました。

島前地域における課題をグローバルな視点で学び、地域・社会の課題を自分の問題と捉え、地域や社会に貢献しようとチームで活動してきました。

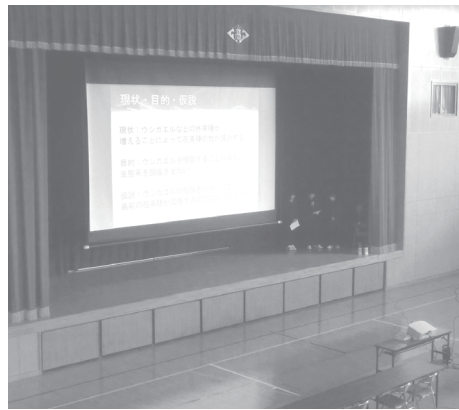
当日は、たくさんの方々の地域の方々や企業の方々にご来校いただきました。発表会を含む今までの活動を通して、生徒からは「チーム内だけでなく、外部の方との関わりが多くあり、コミュニケーションの大切さを知ることができた。」「チームで活動していく中で、計画を立てて行動することの大切さや一人一人の役割の大きさを知った。」「積極的に話し合いをするこゝとで、チームがうまく機能することを実感した。」などの声が聞かれました。

生徒達の成長はもちろん、取り組みの大きさを実感し、継続的な活動にしていきたいと思えます。

〔参加された地域の方の感想〕

・相手に伝えたいことをよりよく伝えるために大切なことは、「目的意識」と「相手意識」。何のために？誰に伝えるの？これをポイントにすると、プレゼンの質は上がる。ガンバレ！！島前高！

・1・2年生の皆さんが後継者となって、「これだ」というテーマに共感して、「後継」して「追究」してほしいと強く感じた。

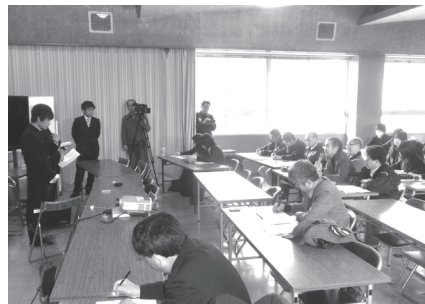


地域学発表会

1月15日(水)、2年生地域創造コースの生徒による、地域学提案発表会を行いました。

一学期には島前地域の抱える課題について知り、二学期からは課題のテーマごとにチーム活動を進めてきました。第一次産業、自然・

景観・環境、観光、少子・高齢化、施設の活用、情報発信、地域における交流について、実際に地域に出たり、地域の方々から話を聞いたりしました。今回は、そのなかで見えてきた課題の解決策を提案しました。



〔参加された地域の方の感想〕

・年々、発表の質が高まっている。今後、提案の実現を目指して取り組んでほしい。

可能であれば、過去の提案がどの程度実現したのか、更に、どのような成果が上がったのか知りた

・今後のプレゼン能力向上に期待する。是非、今回の提案を実現させ、課題解決につなげてほしい。これをきっかけに、地域との連携が図られれば、地域学の意義があると思う。

参加された地域の皆様には、鋭いご指摘や多くのアドバイスをいただき、これまでの自分たちの活動を見直すきっかけになりました。

今回の提案をもとに、三学期は地域のニーズにこたえられるよう、課題解決への取り組みを始めます。「地域学」はまさに地域の方々が生であり、地域が学校という授業です。今後もご協力をよろしくお願ひします。

